







平成18年度下半期(10月～3月)の財政事情

市税の負担状況

土岐市の人口を63,524人(3月末日現在)として市民一人当たりで計算すると…

市税負担額

固定資産税  47,749円	市民税  41,394円	都市計画税  7,746円	たばこ税  5,217円	軽自動車税  1,622円	その他 (入湯税ほか)  243円
合 計 103,971円					

※収入見込額を66億0,466万円として計算

企業会計の状況

病院事業の業務状況

平成18年度の総合病院利用者数は対前年度比で、入院が15,086人(13.7%)減少し、外来(居宅介護サービス含む)が12,644人(5.7%)減少しました。

《主な施設整備》

▷ 医療機器購入 8,623万円

業務の状況

病院名	区分	利用者数	1日平均利用者数
総合病院	入院	94,849人	260人
	外来	211,038人	861人
駄知診療所	外来	12,921人	53人
合 計	入院	94,849人	260人
	外来	223,959人	914人

施設名	区分	利用者数	1日平均利用者数
老人保健施設 やすらぎ	入所	33,474人	92人
	通所	6,335人	22人

※入所に居宅介護サービスの入所利用含む。

経理の状況

病院名	区分	金額
総合病院	収入	63億8,489万円
	支出	67億7,914万円
	差引	△3億9,425万円
駄知診療所	収入	9,562万円
	支出	8,756万円
	差引	806万円
合 計	収入	64億8,051万円
	支出	68億6,670万円
	差引	△3億8,619万円

※総合病院に老人保健施設を含む。

水道事業の業務状況

平成18年度の配水量は679万m³(対前年度比0.22%増)、これに対する有収水量は631万m³(対前年度比0.46%減)となりました。有収率は92.94%で、前年度に比べ0.64ポイント減となりました。

《主な施設整備》

- ▷ 上水道中央監視設備更新工事(3件・2億2,808万円)
- ▷ 公共下水道関連工事(8件・8,350万円)
- ▷ 配水管布設替工事(11件・2,816万円)

業務の状況

区 分	業 務 量
配水量	6,788,204m ³
有収水量	6,308,882m ³
有収率	92.94%
給水件数	22,875件
給水人口	63,397人

※有収率=有収水量(料金となった水量)と配水量との割合

経理の状況

区 分	金 額
収 入	17億1,092万円
支 出	16億1,282万円
差 引	9,810万円

土岐市の家計簿を公表します

この公表は、市の財政と市が経営する水道、病院事業の状況を皆さんに理解していただくため、毎年2回行っているものです。

ここでは、平成18年度下半期（10月～3月）の予算執行状況や、企業会計の業務状況などについてお知らせします。

一般会計

本市の収入の根幹となる市税の収入見込額は、市民税については税制改正などの影響で増収となったものの、固定資産税については評価替えによって課税標準額（税額を算出する上で基礎となる金額）が下落したことなどの影響で減収となり、全体としては前年度と比べ、ほぼ横ばいとなりました。

こうした厳しい状況の中、最小の経費で最大の効果が得られるよう、適切な行財政運営に努めています。

平成18年度の一般会計予算は、3月末日現在で、当初予算に前年度からの繰越事業費と5回の補正を合わせた結果、188億8,899万円となっています（表参照）。

平成18年度下半期は、土岐津公民館建設事業・JR中央本線西踏切拡幅改良事業などを行いました。

特別会計

特定の事業を行ったり、特定の収入を特定の支出に充てたりするときは、一般会計と切り離して経理を行います。これを特別会計といい、本市の場合11種類あります（表参照）。

企業会計

病院事業や水道事業などは、それぞれ一つの会社で事業を行っているの見立て、独立して経理を行うのが一般的です。これを企業会計といいます。

市債（長期借入金）

市の収入には、市税などのほか、学校・道路・公園・下水道など、一時的に多額の支出を伴う建設事業の財源として、市債（長期借入金）があります。市債は、将来にわたって負担を残すこととなりますが、世代間の公平負担の原則を尊重しつつ、返済能力の範囲内で運用しています（表参照）。

平成18年度は、土岐津公民館建設事業や消防団拠点施設建設事業（土岐津町・妻木町）などで借り入れました。

表① 一般会計・特別会計の収入・支出の概況

会計名	予算額	収入済額	支出済額	
一般会計	188億8,899万円	175億5,547万円	128億0,642万円	
特別会計	曾木地区市有林管理	1,443万円	597万円	89万円
	下水道事業	37億8,588万円	8億2,262万円	13億8,440万円
	交通災害共済	2,214万円	914万円	1,512万円
	国民健康保険	61億6,651万円	50億6,661万円	51億3,328万円
	自動車駐車場事業	7,500万円	7,392万円	1,745万円
	老人保健	58億1,210万円	48億5,854万円	50億7,786万円
	介護保険（保険勘定）	33億9,857万円	27億2,655万円	28億8,760万円
	介護保険（サービス勘定）	3,150万円	710万円	1,069万円
	農業集落排水事業	2億3,426万円	5,287万円	8,023万円
	介護認定審査会	4,562万円	4,565万円	3,653万円
	障害者自立支援認定審査会	622万円	546万円	499万円

※収入済額・支出済額は3月31日現在のもので、決算額とは異なります。

表② 市債の内訳

債目	金額	
一般会計	教育債	41億0,406万円
	土木債	19億1,229万円
	衛生債	13億5,706万円
	民生債	6億2,436万円
	商工債	4億9,471万円
	その他	77億0,258万円
特別会計	下水道事業債	175億0,260万円
	農業集落排水事業債	3億2,890万円
企業会計	病院事業債	54億7,542万円
	水道事業債	70億4,526万円
合計	465億4,724万円	

（平成18年度末の現在高）